Webサイト構築における情報デザイン

〈スタイルシート(CSS)レイアウトの重要性〉

学部　学科　学年　学生番号

氏名

はじめに

Webサイトを構築する上で重要なことは、「伝えたい情報（コンテンツ）をいかに明確にユーザーに伝えることができるか」である。したがって、「ユーザビリティ」や「アクセシビリティ」【ここで言う「ユーザビリティ」とはユーザーにとってWebサイトが閲覧しやすく使いやすいということを指し、「アクセシビリティ」とはナビゲーションやサイトマップが分かりやすく、Webサイトへアクセスしやすいことを指す。】を考慮した情報デザインを構築していくことが最も重要である。その上で、グラフィックやアニメーションなどを上手く組み合わせたビジュアルデザインを考えていくことが、魅力的なWebサイトの構築となる。

今回は、そのサイトデザインの根幹とも言える、情報設計に欠かせない「スタイルシート（CSS）【Cascading Style Sheetsの略。現在一般的に使用されているスタイルシートとは、スタイルシート言語の一つであるCSSを指していることが多く、ここではスタイルシートをCSSと表記していく。】レイアウト」に着目し、情報デザインにおけるCSSの重要性について説いていく。

Webサイトの構築

一般的にWebサイトを構築するには、HTMLという言語を使う。しかし、HTMLのみで構築されたサイトは、デザインもコンテンツも一つのファイルに書き込むため、細かいレイアウトができない。「複雑化されたテーブルレイアウトやフレームデザイン」、「繰り返し使われるfontタグや透過GIF画像」のような、無駄な要素が発生してしまう。

そこで、デザインはデザイン、コンテンツはコンテンツで切り離して管理するスタイルへと変化していくようになり、スタイルシートレイアウトが注目を浴びるようになった。

スタイルシートレイアウトとは

CSSとは、W3C（World Wide Web Consortium）が作成した標準デザインを念頭に置いた言語であり、コンテンツ（情報）とフォーム（デザイン）の二つを分割してページ管理をすることが目的である。

HTMLで作成した文書にCSS を追加すれば、フォントの大きさ、行間、余白などあらゆる側面からレイアウトをコントロールでき、工夫を凝らしたデザインも可能になる。こうすることで、HTML文書には余分なタグが発生せず、CSS でデザインを一括管理することができるのである。

スタイルシートの魅力

では、CSSの魅力とはいかなるものか？　具体的に検証してみよう。

ファイルサイズの縮小化

CSSを使うことでファイルサイズが縮小され、ダウンロード時間を短縮できる。これによりファイル転送量も軽減され、サーバーの負担も軽くなった。実際、テーブルデザインからCSSデザインに変更すると、ファイルサイズを40〜60%縮小できるといわれている。

高度なタイポグラフィーの表現

フォントサイズをより細かく指定できるようになり、行間、文字幅など可読性だけではなく、影を付けるなど文字自体もデザインすることができる。

要素の配置指定の向上

階層（深さ）での場所指定により、要素を重ねて表示できるようになり、ピクセル単位による細かい指定もより簡単にできるようになった。

オールインワンサイト

CSSのmedia属性を使用することによりメディアタイプ（PrintやScreenなど）を設定することができ、メディアに応じた細かい設定が可能となった。例えば、印刷用ページやPDA専用ページを作成する際、従来のように一つずつページを作り分けしなくても、すべて一つのHTMLファイル、つまりオールインワンで表現できる。

サイト開発、管理、更新の時間短縮

サイト全体のデザインに手を加えたいとき、ひとつひとつのHTML文書を編集しなくても、CSSファイルの修正だけで作業を終わらせることができる。また、サイトの管理や更新も、一からレイアウトを組み直す必要性がないため、作業効率が向上する。

アクセシビリティの向上

CSSを効果的に使うことによって、構造的に意味のあるHTML文書を作成することが可能となった。これは、音声ブラウザのようなアクセシビリティが必要な端末に有効であり、より多くのユーザーが閲覧しやすくなったといえる。

SEO対策

構造的なHTMLファイルを作ると、ロボット検索からは非常に解析しやすいページとなり、SEO（Search Engine Optimization＝検索エンジン最適化）対策につながる。上記に挙げたアクセシビリティと同様、HTMLの構造化により、特定のブラウザに依存することなく、さまざまな形でユーザーにコンテンツを提供することが可能となった。つまり、多くのユーザーが閲覧出来るようになったのである。

おわりに

CSSがいかに魅力的か理解して頂けただろうか。しかしながら、CSSが多くのメリットをもたらすと分かっていても、実際にテーブルデザインから脱却してCSSデザインへと移行することは容易なことではない。また、ブラウザの違いによって表示が異なる場合もあり、企業のサイトを見渡しても、テーブルをまったく使わないデザインはあまり見受けられないのが現状である。

サイトごとにユーザーに提供したい情報が異なるため、アニメーションや画像、動画を駆使したサイトを提供する方が効果的な場合もあるだろう。しかし、それはビジュアルデザインに重点をおいた考え方である。本来Webサイトとは、情報コンテンツをいかに明確に伝えるかが重要であり、その点でCSSは、ユーザビリティとアクセシビリティを兼ね備えた理想的なWebサイトの構築技術である。

ビジュアルデザインに効果的にCSSを組み合わせ、ユーザーに分かりやすく情報提供をすることができ、かつ、サイト管理もしやすいとなれば、今後、より多くの場面でCSSが必要とされ、利用されていくのではないだろうか。

【参考文献】

『スタイルシート例文辞典』（<http://www.openspc2.org/reibun/css/>） アクセス日時：2009年03月16日 13：00

有坂陽子　長谷川恭久 著 『正しくやさしいCSS入門 スタイルシートスタイルブック』　翔泳社2004

(株)アンク著『スタイルシート辞典　第３版』翔泳社2002